



人に学び・物に学び・自然に学ぶ

三室中だより

《学校教育目標》 令和6年度第2号 令和6年4月30日(火)発行
自ら学ぶ生徒の育成 心豊かな生徒の育成 健康でたくましい生徒の育成

さいたま市立三室中学校
〒336-0912 ばんば
さいたま市緑区馬場1-38-2
学校 048-874-2331
FAX 048-810-1125
相談室 048-876-1731
<http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp>

薫風や 玉を磨けば おのづから

校長 廣江 剛



風薫る季節となりました。青葉の中を吹き渡って緑のかおりを運ぶ風を「薫風」(くんぷう)と呼び、夏の季語(特に5月)となっています。明治から昭和にかけて活躍した物理学学者で夏目漱石門下の文学者でもあった寺田寅彦は、「薫風や 玉を磨けば おのづから」という俳句を残しています。意味は、「薫風が吹いてくる。玉(美しい石)を磨けば、ますます自ら光輝いていくものだ。」といったところでしょうか。勉強にも運動にも適したさわやかな季節、自分の可能性を伸ばすために一層努力を重ね、さらなる上を目指そうという強い意志が感じられる句です。

さて、先日「祇園磐船竜神祭」参加生徒募集のお手紙を配布したところ、1年生35名、2年生26名、3年生24名、合計85名と昨年より2倍以上の応募がありました。三室中生が地域の行事に強い関心をもっていること、入学式の式辞等で話したことをしっかり受け止めてくれたことを大変嬉しく思います。私が地域行事に積極的に参加することを勧める理由は、大きく2つです。1つは、中学生として、地域でお世話になるばかりでなく、地域に貢献できる人に育ってほしいから。もう1つは、三室中生が地域の方々からたくさん褒めてもらうことにより、自分に自信がもてるようになるのではないかと考えるからです。こんなデータがあるので紹介します。昨年の3年生が4月に行った「全国学力・学習状況調査」で「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問項目に対して肯定的な回答をした割合は、31.7%と低かったのですが、感染症の制限も解除となり積極的に地域と交流するようになった結果、3年生が1月に行った「市学習状況調査」における同質問に対する肯定的な回答の割合は61.3%となりました。これは、他の質問項目ではみられない大きな伸び率でした。また、同調査の「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」という質問項目に対する肯定的な回答の割合は、4月が70.8%で1月が86.1%とこちらも大きな伸び率がみられました。「地域や社会を良くしたい」という思いと「何かしてみたい」をイコールで結ぶことが今後の課題と捉えています。

最後に、5月1日は「さいたま市民の日」で学校はお休みになります。市の歴史や文化に親しみ、魅力ある市を将来にわたって創っていくことを期する日として制定されました。市のWebページをみると色々な施設でイベントを開催しているのも興味をもった方は、行ってみるとよいと思います。

最後に、5月1日は「さいたま市民の日」で学校はお休みになります。市の歴史や文化に親しみ、魅力ある市を将来にわたって創っていくことを期する日として制定されました。市のWebページをみると色々な施設でイベントを開催しているのも興味をもった方は、行ってみるとよいと思います。